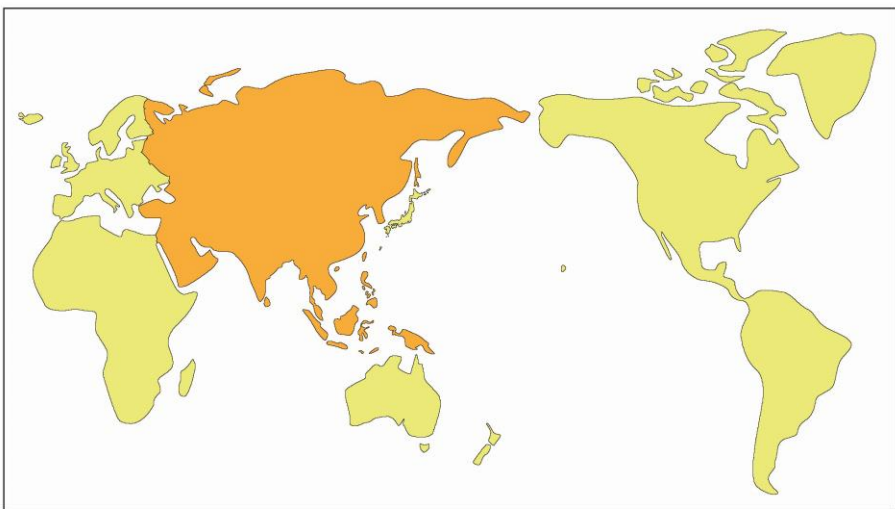


# アジア周辺の動物 【哺乳類】



## シセンレッサーパンダ 茶

分類：食肉目レッサーパンダ科  
 英名：Lesser Panda, Red Panda, Fire Fox  
 学名：Ailurus Fulgens styani  
 分布：ミャンマー北部から中国南部の  
 気温が低い山間部  
 体長：56～63cm 尾長：37～50cm  
 体重：4～7kg  
 生態：前足には、特別に発達した親指状の突起  
 (種子骨)があり、片手で物をつかむ  
 ことができる。竹の葉やタケノコを食べるが、  
 昆虫や小型の哺乳類、鳥類や卵なども食べる。  
 夜行性あるいは薄明薄暮性で木登りがうまく、  
 屋間は樹上で眠っている。



## アムールヤマネコ 飯

分類：食肉目ネコ科  
 英名：Amur Cat  
 学名：Prionailurus bengalensis euphilurus  
 分布：中国東北部からシベリア島南部、朝鮮半島  
 体長：約 45cm 尾長：約 25cm 体重：3～5kg  
 生態：東南アジアに広く分布するベンガルヤマネコの  
 亜種で、ツシマヤマネコと同亜種とされている。  
 広葉樹林帯や、ヤナギなどの繁茂する川に沿った  
 谷に生息し、哺乳類、鳥類、爬虫類などを食べる。  
 木登りも泳ぎも得意。



## アジアゾウ 茶

分類：長鼻目ゾウ科  
 英名：Asian elephant  
 学名：Elephas maximus  
 分布：インド、インドシナ、マレーシア、  
 インドネシア、中国南部  
 体長：5.5～6.4m 尾長：1～1.5m  
 体重：最大 5 t

生態：メスと子供からなる群れをつくり、森林で生活をする。食性は草・木の枝・葉・樹皮・果実等を食べる。  
 1日に150kgくらいの食べもの、90～120ℓの水が必要。アフリカゾウに比べて、耳が小さく、背中が丸まっている。長い鼻の先には、上側に小さな突起がついており、この突起を使って、小さなものをつかむことができる。人間と暮らして訓練を受けたアジアゾウは、重いものの輸送など人間の手伝いをする。妊娠期間は615～668日。寿命は60～80年。



## シシオザル 城

分類：霊長目オナガザル科  
 英名：Lion-tailed macaque  
 学名：Macaca silenus  
 分布：インド南部  
 体長：オス 60cm前後 メス約 45cm  
 尾長：約 25～38cm  
 体重：オス 5～10kg メス 3～6kg  
 生態：尾の先にライオンのようなふさふさとした毛があることが、名前の由来。顔の周りに襟巻きがある。湿生林に棲み、ほぼ樹上生活を送っており、果実、種子、昆虫などを食べる雑食性。地域開発により生息数が激減している。



## アムールトラ 茶

分類：食肉目ネコ科  
 英名：Amur Tiger  
 学名：Panthera tigris altaica  
 分布：主に極東ロシア、中国北東部アムール川流域  
 体長：オス 270～330cm メス 240～270cm  
 尾長：100～120cm  
 体重：オス 270～310kg メス 100～170kg  
 生態：別名シベリアトラともよばれ、トラの  
 仲間では最も北にすむトラの最大種。  
 単独でなわばりをもち、オスのなわばり内にメスのなわばりが重なる。主に中型・大型の草食動物を捕食するが、クマを捕食した例もある。生息地の縮小、密猟などにより、生息数は激減しているため、日本を含む世界の動物園で繁殖に力を入れている。



## ベンガルトラ 須

分類：食肉目ネコ科  
 英名：Bengal Tiger  
 学名：Panthera tigris tigris  
 分布：インド、ミャンマー  
 体長：約 100～130cm  
 尾長：約 90cm  
 体重：100～130kg  
 生態：東南アジアを中心に生息する肉食獣。黄金色の地色に黒の縞模様は森の茂みや藪に溶け込み、獲物に気づかれない利点がある。環境破壊・狩猟により数が減少している。



## オランウータン 茶

分類：霊長目ヒト科  
 英名：Orangutan  
 学名：Pongo pygmaeus  
 分布：インドネシア、マレーシア (スマトラ島、ボルネオ島)  
 体長：オス約 100cm メス約 80cm  
 体重：オス 60～90kg メス 40～50kg  
 生態：オランウータンとはマレー語で「森の人」という意味。世界最大の樹上動物で、一生のほとんどを木の上で過ごす。腕は脚の2倍の長さがあり握力も非常に強い。強いオスには顔の両側に「フランジ」と呼ばれるでっぱりがある。熱帯雨林の中で主に果実を食べるが、木の葉や虫、小動物なども食べる。



## ピントロング 茶

分類：食肉目ジャコウネコ科  
 英名：Binturong / Bear Cat  
 学名：Arctictis binturong  
 分布：バングラデシュ、ミャンマー、インドネシア、タイ、マレーシア、カンボジア、ベトナムなど  
 体長：60～95cm  
 尾長：55～90cm  
 体重：9～17kg  
 生態：森林に生息し、樹上生活をしている。夜行性でもおもに果実を食べているが、小動物なども食べることもある。大きな尾は、先を枝に巻きつけて体を支えることができる。尻の近くに臭腺があり、ポップコーンのような独特の香りを出す。



## アシルテナガザル 小

分類：霊長目テナガザル科  
 英名：Agile Gibbon  
 学名：Hylobates agilis  
 分布：東南アジア  
 体長：40～60cm程度 体重：4～6kg  
 生態：体毛は黒から赤茶までさまざまな色をしているが、オスは眉と頬に、メスは肩に白い毛が生える。熱帯雨林に住み、早朝の歌やブラキエーションによる移動方法など、ミューラーテナガザルと似ているが、分布は全くと言っていいほど重ならない。



## ミューラーテナガザル 飯

分類：霊長目テナガザル科  
 英名：Muller's Bornean Gibbon  
 学名：Hylobates muelleri  
 分布：ボルネオ  
 体長：75～80cm  
 体重：5～10kg  
 生態：ボルネオ島の固有種。テナガザルの中でも小型。家族単位でほとんど樹上生活をしていて、「ブラキエーション」と呼ばれる振り子のような運動で移動する。果実を主な栄養源としている。早朝、森中に鳴り響く長く大きな歌声で威嚇することで、侵入者からなわばりを防衛する。オスとメスの毛色に違いはなく、全体は灰色または茶色。